

2027年入社希望者対象 就職ブランド調査[前半]の結果を発表

株式会社文化放送キャリアパートナーズ(本社:東京都港区、社長:平田真人)は、2027年卒業予定の学生を対象とした「2027年入社希望者対象 就職ブランド調査[前半]」の結果を発表しました。本調査は、過去10年以上にわたり就職活動を行う学生に対して、年に3回「企業の就職ブランド」について調査しているものです。詳細は以下の通りです。3年生・院1年生の4月～9月(夏インターン時期)を「早期」、10月～3月中旬(秋冬インターン・採用広報解禁時期)を「前半」、3月中旬～6月(説明会・選考期)を「後半」と位置づけております。

■2027入社希望者対象 就職活動[前半] 就職ブランド調査(業種別)

金融	
順位	企業名
1位	大和証券グループ
2位	日本生命保険
3位	SMBC日興証券
4位	第一生命保険
5位	三井住友信託銀行
6位	東京海上日動火災保険
7位	ソニー生命保険
8位	りそなグループ
9位	野村證券
10位	三井住友銀行
11位	住友生命保険
12位	三菱UFJ銀行
13位	みずほフィナンシャルグループ
14位	太陽生命保険
15位	三井住友海上火災保険
16位	朝日生命保険
17位	富国生命保険
18位	全国共済農業協同組合連合会(JA共済連)
19位	商工組合中央金庫
20位	大同生命保険

マスコミ	
順位	企業名
1位	博報堂
2位	集英社
3位	読売新聞社
4位	ソニーミュージックグループ
5位	東宝
6位	東急エージェンシー
7位	大広
8位	ジェイアール東日本企画
9位	KADOKAWA
10位	電通
11位	講談社
12位	TBSテレビ
13位	新潮社
14位	エイベックス
15位	日本放送協会(NHK)
16位	テレビ朝日
17位	小学館
18位	ポニーキャニオン
19位	フジテレビジョン
20位	ユニバーサル ミュージック

商社	
順位	企業名
1位	伊藤忠商事
2位	丸紅
3位	住友商事
4位	三菱商事
5位	三井物産
6位	豊田通商
7位	阪和興業
8位	キャノンマーケティングジャパン
9位	国分グループ
10位	タキヒヨー
11位	長瀬産業
12位	日立ハイテク
13位	伊藤忠食品
14位	双日
15位	兼松
16位	岩谷産業
17位	伊藤忠エネクス
18位	JFE商事
19位	アルフレッサ
20位	日本アクセス

自動車・機械・電気製品	
順位	企業名
1位	本田技研工業
2位	ソニー
3位	パナソニック グループ
4位	トヨタ自動車
5位	セイコーエプソン
6位	コマツ(小松製作所)
7位	オムロン
8位	TDK
9位	住友重機械工業
10位	富士通
11位	日立製作所
12位	三菱重工業
13位	京セラ
14位	東京エレクトロングループ
15位	村田製作所
16位	三菱電機
17位	クボタ
18位	東芝グループ
19位	日本電気(NEC)
20位	川崎重工業

■2027入社希望者対象 就職活動[前半] 就職ブランド調査(業種別)

食品	
順位	企業名
1位	味の素
2位	明治グループ(明治・Meiji Seika ファルマ)
3位	ロッテ
4位	キッコーマン
5位	アサヒビール
6位	コカ・コーラ ボトラーズジャパン
7位	ニッスイ
8位	雪印メグミルク
9位	Umios(旧:マルハニチロ)
10位	サントリーホールディングス
11位	カゴメ
12位	アサヒ飲料
13位	伊藤園
14位	江崎グリコ
15位	日清食品
16位	キューピー
17位	カルビー
18位	森永製菓
19位	キリンホールディングス
20位	伊藤ハム

IT・ソフトウェア	
順位	企業名
1位	Sky
2位	日立ソリューションズ
3位	日鉄ソリューションズ
4位	NTTデータ
5位	グーグル
6位	JSOL
7位	パーソルビジネスプロセスデザイン
8位	MS&ADシステムズ
9位	大塚商会
10位	ANA X
11位	富士ソフト
12位	パーソルクロステクノロジー
13位	NECネットエスアイ
14位	伊藤忠テクノソリューションズ(CTC)
15位	楽天グループ
16位	SCSK
17位	アマゾンジャパン
18位	サイバーエージェント
19位	日本ヒューレット・パッカード
20位	LINEヤフー

化学	
順位	企業名
1位	富士フイルムグループ
2位	旭化成グループ
3位	花王
4位	カネカ
5位	アース製薬
6位	三菱ケミカル
7位	クラシエ
8位	ADEKA
9位	住友化学
10位	積水化学グループ
11位	ニフコ
12位	トクヤマ
13位	信越化学工業
14位	エステー
15位	三井化学
16位	ユニ・チャーム
17位	東ソー
18位	長谷川香料
19位	高砂香料工業
20位	クラレ

■2027入社希望者対象 就職活動[前半] 就職ブランド調査(業種別)

ホテル・レジャー・旅行	
順位	企業名
1位	ニュー・オータニ
2位	JTBグループ
3位	ミリアルリゾートホテルズ
4位	パレスホテル
5位	星野リゾート
6位	オリエンタルランド
7位	帝国ホテル
8位	リゾートトラスト
9位	東京ドーム
10位	バンダイナムコアミューズメント

流通	
順位	企業名
1位	そごう・西武
2位	ルミネ
3位	アトレ
4位	ベルク
5位	日本生活協同組合連合会
6位	ニトリ
7位	イオン
8位	コストコホールセールジャパン
9位	ファミリーマート
10位	ヨドバシカメラ

住宅	
順位	企業名
1位	住友林業
2位	一条工務店
3位	積水ハウス
4位	旭化成ホームズ
5位	飯田グループホールディングス
6位	セキスイハイムグループ
7位	パナソニック ホームズ
8位	大和ハウス工業
9位	ミサワホームグループ
10位	タマホーム

通信	
順位	企業名
1位	NTT東日本
2位	JCOM
3位	NTTドコモ
4位	KDDI
5位	ソフトバンクグループ
6位	NTTアドバンステクノロジー
7位	NTT西日本
8位	NTT
9位	NTTドコモビジネス
10位	U-NEXT HOLDINGS

建設	
順位	企業名
1位	鹿島建設
2位	日揮ホールディングス
3位	大林組
4位	大気社
5位	清水建設
6位	奥村組
7位	大成建設
8位	JFEエンジニアリング
9位	千代田化工建設
10位	竹中工務店

不動産	
順位	企業名
1位	三井不動産
2位	三菱地所
3位	三井不動産リアルティ
4位	森ビル
5位	都市再生機構(UR都市機構)
6位	野村不動産
7位	住友不動産
8位	NTT都市開発
9位	大京
10位	東京建物

■2027入社希望者対象 就職活動[前半] 就職ブランド調査(業種別)

旅客(航空・鉄道)	
順位	企業名
1位	全日本空輸(ANA)
2位	日本航空(JAL)
3位	東京地下鉄(東京メトロ)
4位	東日本旅客鉄道(JR東日本)
5位	東海旅客鉄道(JR東海)
6位	ANAエアポートサービス
7位	JALスカイ
8位	ANAウイングス
9位	ANA成田エアポートサービス
10位	阪急阪神ホールディングス

レストラン・フード	
順位	企業名
1位	スターバックスコーヒー・ジャパン
2位	ゼンショーホールディングス
3位	サイゼリヤ
4位	すかいらーく
5位	吉野家ホールディングス
6位	FOOD&LIFE COMPANIES(あきんどスシロー)
7位	くら寿司
8位	はま寿司
9位	ワタミグループ
10位	エームサービス

シンクタンク・調査・コンサルタント	
順位	企業名
1位	大和総研
2位	アクセンチュア
3位	日本M&Aセンター
4位	マネジメント・リ्यू・ソリューションズ(MSOL)
5位	デロイト・トーマツコンサルティング
6位	野村総合研究所
7位	アピームコンサルティング
8位	PwC Japanグループ
9位	ポストン コンサルティング グループ
10位	KPMGコンサルティング

■調査概要

調査主体	文化放送キャリアパートナーズ 就職情報研究所
調査対象	2027年春入社希望の「ブンナビ」会員 (現大学4年生、現大学院2年生)
調査方法	文化放送キャリアパートナーズ運営の就職サイト「ブンナビ」上でのWebアンケート 文化放送キャリアパートナーズ主催の就職イベント会場でのアプリアンケート 文化放送キャリアパートナーズ就職雑誌&デジタルブック内QRコードアンケート *投票者1名が最大5票を有し、志望企業を1位から5位まで選択する形式
調査期間	2025年10月1日 ~ 2026年3月15日
回答数	19,071 (うち男子9089・女子9982/文系13638・理系5433)
↳総得票数	59,745票

■本件に関するお問い合わせ先
株式会社文化放送キャリアパートナーズ
高野 sjk@careerpartners.co.jp
<https://www.careerpartners.co.jp/laboratory/>

BUNKAHO
Career Partners
株式会社 文化放送 キャリアパートナーズ

就職活動に「情報力」
ブンナビ! ぶんナビ
×読書新聞

■「就職」を重視する学生は「企業イメージ(企業価値)」よりも「仕事イメージ(仕事価値)」に重点を置くとの仮説の下で、ランキングを算出。
■就職者誘引度は、学生が企業イメージと仕事イメージのどちらを企業選択時に重視したかという回答によって算出。企業イメージのみで投票した場合は就職者誘引度5、仕事イメージのみで投票した場合は95とし、得票平均値を就職者誘引度としている。
■総得票数×就職者誘引度=就職ブランド力とし、就職ブランド力を元にランキングを計算。
※男女比を1:1にするため、男子得票数に1.098250633を掛けたポイント制